

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
<b>第1から第3（現行のとおり）</b>	<b>第1から第3（略）</b>
<b>第4 検診計画の策定</b> 関係機関と十分協議の上、「子宮頸がん検診（細胞診）事業計画書（様式1号）」等を作成する。 なお、計画書の作成に際しては、次の事項に留意する。 1から5（現行のとおり） 6 検診実施後の結果集計、精密検査結果調査等の方法と期間を決定する（「子宮頸がん検診（細胞診）受診者名簿（様式3号等を利用する。）。	<b>第4 検診計画の策定</b> 関係機関と十分協議の上、「子宮頸がん検診事業計画書（様式1号）」等を作成する。 なお、計画書の作成に際しては、次の事項に留意する。 1から5（略） 6 検診実施後の結果集計、精密検査結果調査等の方法と期間を決定する（「子宮頸がん検診受診者名簿（様式3号等を利用する。）。
<b>第5 受診勧奨（現行のとおり）</b>	<b>第5 受診勧奨（略）</b>
<b>第6 検診方法等</b> 検診項目は、問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診とする。 1 問診 問診に当たっては、不正性器出血等の現在の症状、月経及び分娩・妊娠等に関する事項、 <u>性交経験の有無</u> 、子宮頸部病変の既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取する。 2から4（現行のとおり） 5 記録の整備 (1) 検診実施機関は、細胞診等の結果を「子宮頸がん検診（細	<b>第6 検診方法等</b> 検診項目は、問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診とする。 1 問診 問診に当たっては、不正性器出血等の現在の症状、月経及び分娩・妊娠等に関する事項、子宮頸部病変の既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取する。 2から4（略） 5 記録の整備 (1) 検診実施機関は、細胞診等の結果を「子宮頸がん検診結果

## 新旧対照表

### 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
<p>胞診) 結果記録票(様式4号)」等に記録し、少なくとも5年間は保存する。</p> <p>(2)(現行のとおり)</p>	<p>記録票(様式4号)」等に記録し、少なくとも5年間は保存する。</p> <p>(2)(略)</p>
<b>第7 検診結果の指導区分</b> (現行のとおり)	<b>第7 検診結果の指導区分</b> (略)
<b>第8 検診結果の報告及び通知</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区市町村又は検診実施機関は、検診終了後速やかに、検診結果を「子宮頸がん検診(細胞診)受診者名簿(様式3号)」に記録する。</li> <li>2 区市町村又は検診実施機関は、検診結果報告を基に、受診者宛てに「子宮頸がん検診(細胞診)結果通知書(様式5号)」を作成し、精密検査の必要性の有無を付し、受診者に速やかに通知する。</li> </ol> <p>(1) 要精検：「子宮頸がん検診(細胞診)結果通知書(様式5号)」及び「子宮頸がん検診(細胞診)精密検査依頼書兼結果報告書(様式6号)」</p> <p>(2) 精検不要：「子宮頸がん検診(細胞診)結果通知書(様式5号)」</p>	<b>第8 検診結果の報告及び通知</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区市町村又は検診実施機関は、検診終了後速やかに、検診結果を「子宮頸がん検診受診者名簿(様式3号)」に記録する。</li> <li>2 区市町村又は検診実施機関は、検診結果報告を基に、受診者宛てに「子宮頸がん検診結果通知書(様式5号)」を作成し、精密検査の必要性の有無を付し、受診者に速やかに通知する。</li> </ol> <p>(1) 要精検：「子宮頸がん検診結果通知書(様式5号)」及び「子宮頸がん検診精密検査依頼書兼結果報告書(様式6号)」</p> <p>(2) 精検不要：「子宮頸がん検診結果通知書(様式5号)」</p>
<b>第9 検診記録の整備及び精密検査結果の把握</b>	<b>第9 検診記録の整備及び精密検査結果の把握</b>
1 検診記録の整備	1 検診記録の整備

## 新旧対照表

### 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
<p>区市町村は、検診実施機関等と連携を図り、「子宮頸がん検診（細胞診）受診者名簿（様式3号）」等に、受診者の氏名、年齢、住所、過去の検診受診状況、検診結果、精密検査の受診勧奨の有無、精密検査受診の有無、精密検査結果等を記録し、また、「子宮頸がん検診（細胞診）結果集計表（様式7号）」を作成する。</p> <p>なお、精密検査受診の有無（受診・未受診・未把握）については、以下の定義に従い正しく分類し、記録すること。</p> <p>(1) から (3) (現行のとおり)</p> <p>2 子宮頸がん検診精密検査結果の把握</p> <p>区市町村又は検診実施機関は、「子宮頸がん検診（細胞診）精密検査依頼書兼結果報告書（様式6号）」等により精密検査実施医療機関に精密検査を依頼するとともに、その結果を把握する。</p> <p>なお、精密検査結果の区市町村又は検診実施機関への提供については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）の例外事項として認められている（「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドラインについて」（平成29年4月14日付個情第534号・医政発0414第6号・薬生発0414第1号・老発0414第1号個人情報保護委員会事務局長・厚生労働省医政局長・医薬・生活衛生局長・老健局長通知別添（令和5年3月改正））による。）</p>	<p>区市町村は、検診実施機関等と連携を図り、「子宮頸がん検診受診者名簿（様式3号）」等に、受診者の氏名、年齢、住所、過去の検診受診状況、検診結果、精密検査の受診勧奨の有無、精密検査受診の有無、精密検査結果等を記録し、また、「子宮頸がん検診結果集計表（様式7号）」を作成する。</p> <p>なお、精密検査受診の有無（受診・未受診・未把握）については、以下の定義に従い正しく分類し、記録すること。</p> <p>(1) から (3) (略)</p> <p>2 子宮頸がん検診精密検査結果の把握</p> <p>区市町村又は検診実施機関は、「子宮頸がん検診精密検査依頼書兼結果報告書（様式6号）」等により精密検査実施医療機関に精密検査を依頼するとともに、その結果を把握する。</p> <p>なお、精密検査結果の区市町村又は検診実施機関への提供については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）の例外事項として認められている（「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドラインについて」（平成29年4月14日付個情第534号・医政発0414第6号・薬生発0414第1号・老発0414第1号個人情報保護委員会事務局長・厚生労働省医政局長・医薬・生活衛生局長・老健局長通知別添（令和5年3月改正））による。）</p>

## 新旧対照表

### 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
<p><b>第10 事業評価</b></p> <p>子宮頸がん検診は、科学的に効果の明らかな方法及び精度管理の下に実施することが不可欠であり、区市町村は、「子宮頸がん検診（細胞診）のためのチェックリスト（市区町村用）（様式8号）」を用い、検診の実施状況を把握した上で、本チェックリストの事項が確実に実施されるよう、体制の整備に努めるとともに、検診実施機関等の関係機関と十分協議を行う。</p> <p>また、東京都生活習慣病検診管理指導協議会における検討結果や助言を踏まえ、検診実施機関の選定や実施方法等の改善に努める。</p> <p>なお、子宮頸がん検診における事業評価の基本的な考え方は、「がん検診事業のあり方について」（がん検診のあり方に関する検討会（令和5年6月））に示されている。報告書の見直しが行われた場合は、新たな内容に基づき事業評価を行うこととする。</p>	<p><b>第10 事業評価</b></p> <p>子宮頸がん検診は、科学的に効果の明らかな方法及び精度管理の下に実施することが不可欠であり、区市町村は、「子宮頸がん検診チェックリスト（区市町村用）（様式8号）」を用い、検診の実施状況を把握した上で、本チェックリストの事項が確実に実施されるよう、体制の整備に努めるとともに、検診実施機関等の関係機関と十分協議を行う。</p> <p>また、東京都生活習慣病検診管理指導協議会における検討結果や助言を踏まえ、検診実施機関の選定や実施方法等の改善に努める。</p> <p>なお、子宮頸がん検診における事業評価の基本的な考え方は、「がん検診事業のあり方について」（がん検診のあり方に関する検討会（令和5年6月））に示されている。報告書の見直しが行われた場合は、新たな内容に基づき事業評価を行うこととする。</p>
<p><b>第11 検診実施機関</b></p> <p>1 検診実施機関は、適切な方法及び精度管理の下で子宮頸がん検診が円滑に実施されるよう、「子宮頸がん検診（細胞診）のためのチェックリスト（検診実施機関用）（様式9号）」を用い、本チェックリストの事項が確実に実施されているか確認を行い、子宮頸部細胞診等の精度管理に努めることとする</p>	<p><b>第11 検診実施機関</b></p> <p>1 検診実施機関は、適切な方法及び精度管理の下で子宮頸がん検診が円滑に実施されるよう、「子宮頸がん検診チェックリスト（検診実施機関用）（様式9号）」を用い、本チェックリストの事項が確実に実施されているか確認を行い、子宮頸部細胞診等の精度管理に努めることとする。</p>

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
<p>る。</p> <p>2から5　(現行のとおり)</p> <p><b>第12 精密検査等</b></p> <p>1と2　(現行のとおり)</p> <p>※ 細胞診判定後の精密検査の考え方</p> <p>ASC-US: ①コルポスコピー、生検 ②HPV検査 ③6ヶ月後の細胞診再検査 (①～③のいずれかが精密検査に該当する)</p> <p>ASC-H・LSIL・HSIL・SCC・AGC・AIS・adenocarcinoma・other malignant neoplasms: コルポスコピー、生検 (HPV検査や細胞診再検査は該当しない)</p> <p>細胞診の判定医が、検診結果記録票のコメント欄に詳細を記入することが望ましい。</p> <p>例) ASC-US の判定結果に対するコメント</p> <p>「表層型の扁平上皮細胞に軽度の核腫大が認められます。HPV検査を行い、陽性であればコルポ診による精検をお願いします。あるいは、6ヶ月後の細胞診再検査をお願いいたします。再検の結果、ASC-US以上の細胞診異常が持続するようであれば、コルポ診による精検をお願いします。」</p>	<p>2から5　(略)</p> <p><b>第12 精密検査等</b></p> <p>1と2　(現行のとおり)</p> <p>※ 細胞診判定後の精密検査の考え方</p> <p>ASC-US: ①コルポスコピー、生検 ②HPV検査 ③6ヶ月後の細胞診再検査 (①～③のいずれかが精密検査に該当する)</p> <p>ASC-H・LSIL・HSIL・SCC・AGC・AIS・adenocarcinoma・other malignancy: コルポスコピー、生検 (HPV検査や細胞診再検査は該当しない)</p> <p>細胞診の判定医が、検診結果記録票のコメント欄に詳細を記入することが望ましい。</p> <p>例) ASC-US の判定結果に対するコメント</p> <p>「表層型の扁平上皮細胞に軽度の核腫大が認められます。HPV検査を行い、陽性であればコルポ診による精検をお願いします。あるいは、6ヶ月後の細胞診再検査をお願いいたします。再検の結果、ASC-US以上の細胞診異常が持続するようであれば、コルポ診による精検をお願いします。」</p>

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
(別紙1) 仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目 子宮頸 がん検診 <u>(細胞診)</u> ※ 国立がん研究センター作成様式 <u>(令和6年3月)</u> に差替え	(別紙1) 仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目 子宮頸が ん検診 ※ 国立がん研究センター作成様式 <u>(令和5年3月)</u>

# 新旧対照表

## 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新					旧																																																																										
(別紙2)					(別紙2)																																																																										
<b>(別紙2)</b> 子宮頸部細胞診判定（ベセスタシステム）					<b>(別紙2)</b> 子宮頸部細胞診判定（ベセスタシステム）																																																																										
【扁平上皮系】					【扁平上皮系】																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>結果</th><th>略語</th><th>推定される病理診断※1</th><th>英語表記</th><th>取扱い（参考）</th><th>結果</th><th>略語</th><th>推定される病理診断※1</th><th>英語表記</th><th>取扱い（参考）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 隆性</td><td>NILM<sup>a</sup></td><td>非腫瘍性所見、炎症</td><td>Negative for intraepithelial lesion or malignancy<sup>a</sup></td><td>異常なし：定期検診</td><td>1) 隆性</td><td>NILM<sup>a</sup></td><td>非腫瘍性所見、炎症</td><td>Negative for intraepithelial lesion or malignancy<sup>a</sup></td><td>異常なし：定期検診</td></tr> <tr> <td>2) 意義不明な、異型扁平上皮細胞</td><td>ASC-US<sup>b</sup></td><td>軽度扁平上皮内病変<sup>c</sup>、※2、説明：「判定が難しい」、「鑑別が困難である」</td><td>Atypical squamous cells of undetermined significance<sup>c</sup></td><td>要精検： ① HPV 検査による判定が望ましい。 陰性：1 年後に細胞診 陽性：コルポスコビー、生検 ② HPV 検査非施行、6か月以内の細胞診再検査</td><td>2) 意義不明な、異型扁平上皮細胞</td><td>ASC-US<sup>b</sup></td><td>軽度扁平上皮内病変<sup>c</sup>、※2、説明：「判定が難しい」、「鑑別が困難である」</td><td>Atypical squamous cells of undetermined significance<sup>c</sup></td><td>要精検： ① HPV 検査による判定が望ましい。 陰性：1 年後に細胞診 陽性：コルポスコビー、生検 ② HPV 検査非施行、6か月以内の細胞診再検査</td></tr> <tr> <td>3) 高度扁平上皮内病変、□を除外できない、異型扁平上皮細胞</td><td>ASC-H<sup>d</sup></td><td>高度扁平上皮内病変<sup>c</sup>、※3、説明：「高度病変を疑う」</td><td>Atypical squamous cells cannot exclude HSIL<sup>c</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生検</td><td>3) 高度扁平上皮内病変、□を除外できない、異型扁平上皮細胞</td><td>ASC-H<sup>d</sup></td><td>高度扁平上皮内病変<sup>c</sup>、※3、説明：「高度病変を疑う」</td><td>Atypical squamous cells cannot exclude HSIL<sup>c</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生検</td></tr> <tr> <td>4) 軽度扁平上皮内病変</td><td>LSIL<sup>e</sup></td><td>HPV 感染、CIN1（軽度異形成）※4</td><td>Low-grade squamous intraepithelial lesion<sup>e</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生検</td><td>4) 軽度扁平上皮内病変</td><td>LSIL<sup>e</sup></td><td>HPV 感染、CIN1（軽度異形成）※4</td><td>Low-grade squamous intraepithelial lesion<sup>e</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生検</td></tr> <tr> <td>5) 高度扁平上皮内病変</td><td>HSIL<sup>f</sup></td><td>CIN2（中等度異形成）※4、CIN3（高度異形成／上皮内がん）※4</td><td>High grade squamous intraepithelial lesion<sup>f</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生検</td><td>5) 高度扁平上皮内病変</td><td>HSIL<sup>f</sup></td><td>CIN2（中等度異形成）※4、CIN3（高度異形成／上皮内がん）※4</td><td>High grade squamous intraepithelial lesion<sup>f</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生椼</td></tr> <tr> <td>6) 扁平上皮がん</td><td>SCC<sup>g</sup></td><td>扁平上皮がん、IA期のがん※5を含む</td><td>Squamous cell carcinoma<sup>g</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生椼</td><td>6) 扁平上皮がん</td><td>SCC<sup>g</sup></td><td>扁平上皮がん、IA期のがん※5を含む</td><td>Squamous cell carcinoma<sup>g</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生椼</td></tr> </tbody> </table>										結果	略語	推定される病理診断※1	英語表記	取扱い（参考）	結果	略語	推定される病理診断※1	英語表記	取扱い（参考）	1) 隆性	NILM <sup>a</sup>	非腫瘍性所見、炎症	Negative for intraepithelial lesion or malignancy <sup>a</sup>	異常なし：定期検診	1) 隆性	NILM <sup>a</sup>	非腫瘍性所見、炎症	Negative for intraepithelial lesion or malignancy <sup>a</sup>	異常なし：定期検診	2) 意義不明な、異型扁平上皮細胞	ASC-US <sup>b</sup>	軽度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※2、説明：「判定が難しい」、「鑑別が困難である」	Atypical squamous cells of undetermined significance <sup>c</sup>	要精検： ① HPV 検査による判定が望ましい。 陰性：1 年後に細胞診 陽性：コルポスコビー、生検 ② HPV 検査非施行、6か月以内の細胞診再検査	2) 意義不明な、異型扁平上皮細胞	ASC-US <sup>b</sup>	軽度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※2、説明：「判定が難しい」、「鑑別が困難である」	Atypical squamous cells of undetermined significance <sup>c</sup>	要精検： ① HPV 検査による判定が望ましい。 陰性：1 年後に細胞診 陽性：コルポスコビー、生検 ② HPV 検査非施行、6か月以内の細胞診再検査	3) 高度扁平上皮内病変、□を除外できない、異型扁平上皮細胞	ASC-H <sup>d</sup>	高度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※3、説明：「高度病変を疑う」	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL <sup>c</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	3) 高度扁平上皮内病変、□を除外できない、異型扁平上皮細胞	ASC-H <sup>d</sup>	高度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※3、説明：「高度病変を疑う」	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL <sup>c</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	4) 軽度扁平上皮内病変	LSIL <sup>e</sup>	HPV 感染、CIN1（軽度異形成）※4	Low-grade squamous intraepithelial lesion <sup>e</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	4) 軽度扁平上皮内病変	LSIL <sup>e</sup>	HPV 感染、CIN1（軽度異形成）※4	Low-grade squamous intraepithelial lesion <sup>e</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	5) 高度扁平上皮内病変	HSIL <sup>f</sup>	CIN2（中等度異形成）※4、CIN3（高度異形成／上皮内がん）※4	High grade squamous intraepithelial lesion <sup>f</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	5) 高度扁平上皮内病変	HSIL <sup>f</sup>	CIN2（中等度異形成）※4、CIN3（高度異形成／上皮内がん）※4	High grade squamous intraepithelial lesion <sup>f</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼	6) 扁平上皮がん	SCC <sup>g</sup>	扁平上皮がん、IA期のがん※5を含む	Squamous cell carcinoma <sup>g</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼	6) 扁平上皮がん	SCC <sup>g</sup>	扁平上皮がん、IA期のがん※5を含む	Squamous cell carcinoma <sup>g</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼
結果	略語	推定される病理診断※1	英語表記	取扱い（参考）	結果	略語	推定される病理診断※1	英語表記	取扱い（参考）																																																																						
1) 隆性	NILM <sup>a</sup>	非腫瘍性所見、炎症	Negative for intraepithelial lesion or malignancy <sup>a</sup>	異常なし：定期検診	1) 隆性	NILM <sup>a</sup>	非腫瘍性所見、炎症	Negative for intraepithelial lesion or malignancy <sup>a</sup>	異常なし：定期検診																																																																						
2) 意義不明な、異型扁平上皮細胞	ASC-US <sup>b</sup>	軽度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※2、説明：「判定が難しい」、「鑑別が困難である」	Atypical squamous cells of undetermined significance <sup>c</sup>	要精検： ① HPV 検査による判定が望ましい。 陰性：1 年後に細胞診 陽性：コルポスコビー、生検 ② HPV 検査非施行、6か月以内の細胞診再検査	2) 意義不明な、異型扁平上皮細胞	ASC-US <sup>b</sup>	軽度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※2、説明：「判定が難しい」、「鑑別が困難である」	Atypical squamous cells of undetermined significance <sup>c</sup>	要精検： ① HPV 検査による判定が望ましい。 陰性：1 年後に細胞診 陽性：コルポスコビー、生検 ② HPV 検査非施行、6か月以内の細胞診再検査																																																																						
3) 高度扁平上皮内病変、□を除外できない、異型扁平上皮細胞	ASC-H <sup>d</sup>	高度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※3、説明：「高度病変を疑う」	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL <sup>c</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	3) 高度扁平上皮内病変、□を除外できない、異型扁平上皮細胞	ASC-H <sup>d</sup>	高度扁平上皮内病変 <sup>c</sup> 、※3、説明：「高度病変を疑う」	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL <sup>c</sup>	要精検： コルポスコビー、生検																																																																						
4) 軽度扁平上皮内病変	LSIL <sup>e</sup>	HPV 感染、CIN1（軽度異形成）※4	Low-grade squamous intraepithelial lesion <sup>e</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	4) 軽度扁平上皮内病変	LSIL <sup>e</sup>	HPV 感染、CIN1（軽度異形成）※4	Low-grade squamous intraepithelial lesion <sup>e</sup>	要精検： コルポスコビー、生検																																																																						
5) 高度扁平上皮内病変	HSIL <sup>f</sup>	CIN2（中等度異形成）※4、CIN3（高度異形成／上皮内がん）※4	High grade squamous intraepithelial lesion <sup>f</sup>	要精検： コルポスコビー、生検	5) 高度扁平上皮内病変	HSIL <sup>f</sup>	CIN2（中等度異形成）※4、CIN3（高度異形成／上皮内がん）※4	High grade squamous intraepithelial lesion <sup>f</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼																																																																						
6) 扁平上皮がん	SCC <sup>g</sup>	扁平上皮がん、IA期のがん※5を含む	Squamous cell carcinoma <sup>g</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼	6) 扁平上皮がん	SCC <sup>g</sup>	扁平上皮がん、IA期のがん※5を含む	Squamous cell carcinoma <sup>g</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼																																																																						
【腺系】					【腺系】																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>7) 異型腺細胞</th><th>AGC<sup>h</sup></th><th>腺系病変<sup>i</sup></th><th>Atypical glandular cells<sup>h</sup></th><th>要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診</th><th>7) 異型腺細胞</th><th>AGC<sup>h</sup></th><th>腺系病変<sup>i</sup></th><th>Atypical glandular cells<sup>h</sup></th><th>要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8) 上皮内癌がん</td><td>AIS<sup>j</sup></td><td>上皮内癌がん</td><td>Adenocarcinoma in situ<sup>j</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診</td><td>8) 上皮内癌がん</td><td>AIS<sup>j</sup></td><td>上皮内癌がん</td><td>Adenocarcinoma in situ<sup>j</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診</td></tr> <tr> <td>9) 腺がん</td><td>Adeno<sup>k</sup> carcinoma</td><td>腺がん</td><td>Adenocarcinoma<sup>k</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診</td><td>9) 腺がん</td><td>Adeno<sup>k</sup> carcinoma</td><td>腺がん</td><td>Adenocarcinoma<sup>k</sup></td><td>要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診</td></tr> </tbody> </table>										7) 異型腺細胞	AGC <sup>h</sup>	腺系病変 <sup>i</sup>	Atypical glandular cells <sup>h</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	7) 異型腺細胞	AGC <sup>h</sup>	腺系病変 <sup>i</sup>	Atypical glandular cells <sup>h</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	8) 上皮内癌がん	AIS <sup>j</sup>	上皮内癌がん	Adenocarcinoma in situ <sup>j</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	8) 上皮内癌がん	AIS <sup>j</sup>	上皮内癌がん	Adenocarcinoma in situ <sup>j</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	9) 腺がん	Adeno <sup>k</sup> carcinoma	腺がん	Adenocarcinoma <sup>k</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	9) 腺がん	Adeno <sup>k</sup> carcinoma	腺がん	Adenocarcinoma <sup>k</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診																																								
7) 異型腺細胞	AGC <sup>h</sup>	腺系病変 <sup>i</sup>	Atypical glandular cells <sup>h</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	7) 異型腺細胞	AGC <sup>h</sup>	腺系病変 <sup>i</sup>	Atypical glandular cells <sup>h</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診																																																																						
8) 上皮内癌がん	AIS <sup>j</sup>	上皮内癌がん	Adenocarcinoma in situ <sup>j</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	8) 上皮内癌がん	AIS <sup>j</sup>	上皮内癌がん	Adenocarcinoma in situ <sup>j</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診																																																																						
9) 腺がん	Adeno <sup>k</sup> carcinoma	腺がん	Adenocarcinoma <sup>k</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診	9) 腺がん	Adeno <sup>k</sup> carcinoma	腺がん	Adenocarcinoma <sup>k</sup>	要精検： コルポスコビー、生椼、頭管及び内膜細胞診又は組織診																																																																						
【その他の悪性腫瘍】					【その他の悪性腫瘍】																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>10) その他の悪性腫瘍</th><th>Other<sup>l</sup></th><th>その他の悪性腫瘍</th><th>Other malignant neoplasms<sup>l</sup></th><th>要精検：病理検索</th><th>10) その他の悪性腫瘍</th><th>Other<sup>l</sup></th><th>その他の悪性腫瘍</th><th>Other malignant neoplasms<sup>l</sup></th><th>要精検：病理検索</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10) その他の悪性腫瘍</td><td>Other<sup>l</sup></td><td>その他の悪性腫瘍</td><td>Other malignant neoplasms<sup>l</sup></td><td>要精検：病理検索</td><td>10) その他の悪性腫瘍</td><td>Other<sup>l</sup></td><td>その他の悪性腫瘍</td><td>Other malignant neoplasms<sup>l</sup></td><td>要精検：病理検索</td></tr> </tbody> </table>										10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索	10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索	10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索	10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索																																																		
10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索	10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索																																																																						
10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索	10) その他の悪性腫瘍	Other <sup>l</sup>	その他の悪性腫瘍	Other malignant neoplasms <sup>l</sup>	要精検：病理検索																																																																						

※1 推定される病理診断：報告書には臨床的取扱いの参考にするために、推定される病理組織分類を従来どおり付記することが推奨される。

※2 意義不明な異型扁平上皮細胞(ASC-US)：軽度扁平上皮内病変(LSIL)疑い(否定できない)。全報告の 5%以下であることが期待される。ハイリスク HPV が約 50%に検出される。約 10~20%は CIN2~CIN3（中等度～高度異形成、上皮内がん）と最終診断される。

※3 高度扁平上皮内病変(HSIL)を除外できない異型扁平上皮細胞(ASC-H)：高度扁平上皮内病変(HSIL)疑い(否定できない)。全 ASC の 10%以下であることが期待される。CIN2(中等度異形成)以上と最終診断される割合が ASC-US より高い。

※4 子宮頸癌取扱い規約第 3 版（2012 年 4 月）から CIN：cervical intraepithelial neoplasia（子宮頸部上皮内腫瘍）が用いられるようになった。

※5 子宮頸癌取扱い規約第 4 版（2017 年 7 月）から、微小浸潤扁平上皮がんと微小浸潤腺がんが削除され、それぞれ扁平上皮がんと腺がんに含まれることになったので、従来の微小浸潤がんは IA 期のがんと表記されることになった。

※1 推定される病理診断：報告書には臨床的取扱いの参考にするために、推定される病理組織分類を従来どおり付記することが推奨される。

※2 意義不明な異型扁平上皮細胞(ASC-US)：軽度扁平上皮内病変(LSIL)疑い(否定できない)。全報告の 5%以下であることが期待される。ハイリスク HPV が約 50%に検出される。約 10~20%は CIN2~CIN3（中等度～高度異形成、上皮内がん）と最終診断される。

※3 高度扁平上皮内病変(HSIL)を除外できない異型扁平上皮細胞(ASC-H)：高度扁平上皮内病変(HSIL)疑い(否定できない)。全 ASC の 10%以下であることが期待される。CIN2(中等度異形成)以上と最終診断される割合が ASC-US より高い。

※4 子宮頸癌取扱い規約第 3 版（2012 年 4 月）から CIN：cervical intraepithelial neoplasia（子宮頸部上皮内腫瘍）が用いられるようになった。

※5 子宮頸癌取扱い規約第 4 版（2017 年 7 月）から、微小浸潤扁平上皮がんと微小浸潤腺がんが削除され、それぞれ扁平上皮がんと腺がんに含まれることになったので、従来の微小浸潤がんは IA 期のがんと表記されることになった。

慶應義塾大学医学部青木口大輔監督教授（東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会委員）提供資料

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室青木口大輔教授（東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会委員）提供資料

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧																																								
<p><b>(様式1号)</b></p> <p style="text-align: center;">(様式1号) 年度 子宮頸がん検診（細胞診）事業計画書</p> <p style="text-align: center;">区市町村名 _____</p> <p>1 実施期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>2 予定人員 名</p> <p>3 周知方法 [ ]</p> <p>4 周知期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>5 実施場所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">検診機関名</th> <th style="width: 25%;">検診実施住所</th> <th style="width: 25%;">予定人員</th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>6 受診結果集計期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>7 精密検査結果調査期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">10</p>	検診機関名	検診実施住所	予定人員	備考																	<p><b>(様式1号)</b></p> <p style="text-align: center;">(様式1号) 年度 子宮頸がん検診事業計画書</p> <p style="text-align: center;">区市町村名 _____</p> <p>1 実施期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>2 予定人員 名</p> <p>3 周知方法 [ ]</p> <p>4 周知期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>5 実施場所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">検診機関名</th> <th style="width: 25%;">検診実施住所</th> <th style="width: 25%;">予定人員</th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>6 受診結果集計期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>7 精密検査結果調査期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">10</p>	検診機関名	検診実施住所	予定人員	備考																
検診機関名	検診実施住所	予定人員	備考																																						
検診機関名	検診実施住所	予定人員	備考																																						

## 新旧対照表

### 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧																																																																																																																																																																		
<p>(様式2号)</p> <p><b>子宮頸がん検診受診票</b></p> <p>区市町村名 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">検診日</td> <td style="width: 10%;">年</td> <td style="width: 10%;">月</td> <td style="width: 10%;">日</td> <td style="width: 10%;">検体番号</td> <td style="width: 10%;">_____</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="3"></td> <td>住所</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td>昭和 年</td> <td>平成 年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>生 ( 年 )</td> </tr> <tr> <td colspan="6">1 子宮頸がん検診を受けたことがありますか  <input checked="" type="checkbox"/> (1) 受けたことがある ( 年前 ) (2) 受けたことがない            (1) の場合、異常があると言わされましたか            a 異常あり ( ) b 異常なし</td> </tr> <tr> <td colspan="6">2 月経  <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり ↓ (最終月経 月 日～ 月 日) (閉経 症)            (1) の場合、月経間隔は            a 期間 b 不規則</td> </tr> <tr> <td colspan="6">3 過去6ヶ月以内の不正性器出血  <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし            (1) の場合            a 閉経後出血 b 過多月絏            c 不規則出血 d 一時的な少量出血</td> </tr> <tr> <td colspan="6">4 性交経験            (1) あり (2) なし</td> </tr> <tr> <td colspan="6">5 妊娠            (1) 現在妊娠していますか            a はい (妊娠週数 週) b いいえ            (2) 過去の妊娠について            妊娠回数 回            生産 回            死産 回            流産 回 (人工 回、自然 回)</td> </tr> <tr> <td colspan="6">6 出産            (1) 初産年齢 ( 年 )            (2) 現在            産後 ケ月            授乳中            (3) 最終出産年齢 ( 年 )              (1) あり (2) なし            (絶産 (期間))</td> </tr> <tr> <td colspan="6">7 子宮内避妊具の使用            (1) あり (2) なし</td> </tr> <tr> <td colspan="6">8 子宮の病気にかかったことがありますか  <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし            (1) の場合            病名: _____</td> </tr> <tr> <td colspan="6">9 血縁の人にがんにかかった人がいますか            (1) いる (2) いない</td> </tr> <tr> <td colspan="6">10 血縁の人にがんにかかった人がいますか            (1) いる (2) いない</td> </tr> </table>	検診日	年	月	日	検体番号	_____	氏名				住所	_____	電話番号						生年月日	昭和 年	平成 年	月	日	生 ( 年 )	1 子宮頸がん検診を受けたことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) 受けたことがある ( 年前 ) (2) 受けたことがない (1) の場合、異常があると言わされましたか a 異常あり ( ) b 異常なし						2 月経 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり ↓ (最終月経 月 日～ 月 日) (閉経 症) (1) の場合、月経間隔は a 期間 b 不規則						3 過去6ヶ月以内の不正性器出血 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 a 閉経後出血 b 過多月絏 c 不規則出血 d 一時的な少量出血						4 性交経験 (1) あり (2) なし						5 妊娠 (1) 現在妊娠していますか a はい (妊娠週数 週) b いいえ (2) 過去の妊娠について 妊娠回数 回 生産 回 死産 回 流産 回 (人工 回、自然 回)						6 出産 (1) 初産年齢 ( 年 ) (2) 現在 産後 ケ月 授乳中 (3) 最終出産年齢 ( 年 )  (1) あり (2) なし (絶産 (期間))						7 子宮内避妊具の使用 (1) あり (2) なし						8 子宮の病気にかかったことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 病名: _____						9 血縁の人にがんにかかった人がいますか (1) いる (2) いない						10 血縁の人にがんにかかった人がいますか (1) いる (2) いない						<p>(様式2号)</p> <p><b>子宮頸がん検診受診票</b></p> <p>区市町村名 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">検診日</td> <td style="width: 10%;">年</td> <td style="width: 10%;">月</td> <td style="width: 10%;">日</td> <td style="width: 10%;">検体番号</td> <td style="width: 10%;">_____</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="3"></td> <td>住所</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td>大正 年</td> <td>昭和 年</td> <td>平成 年</td> <td>月</td> <td>日生 ( 年 )</td> </tr> <tr> <td colspan="6">1 子宮頸がん検診を受けたことがありますか  <input checked="" type="checkbox"/> (1) 受けたことがある ( 年前 ) (2) 受けたことがない            (1) の場合、異常があると言わされましたか            a 異常あり ( ) b 異常なし</td> </tr> <tr> <td colspan="6">2 月経  <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり ↓ (最終月経 月 日～ 月 日) (閉経 症)            (1) の場合、月経間隔は            a 期間 b 不規則</td> </tr> <tr> <td colspan="6">3 過去6ヶ月以内の不正性器出血  <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし            (1) の場合            a 閉経後出血 b 過多月絏            c 不規則出血 d 一時的な少量出血</td> </tr> <tr> <td colspan="6">4 妊娠            (1) 妊娠回数            生産            死産            流産            (人工 回、自然 回)</td> </tr> <tr> <td colspan="6">5 出産            (1) 初産年齢 ( 年 )            (2) 現在            妊娠 ケ月            哺乳 ケ月            (3) 最終出産年齢 ( 年 )</td> </tr> <tr> <td colspan="6">6 ホルモン剤の服用            (1) あり (2) なし            (絶産 (期間))</td> </tr> <tr> <td colspan="6">7 子宮内避妊具の使用            (1) あり (2) なし</td> </tr> <tr> <td colspan="6">8 子宮の病気にかかったことがありますか  <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし            (1) の場合            病名: _____</td> </tr> <tr> <td colspan="6">9 血縁の人にがんにかかった人がいますか            (1) いる (2) いない</td> </tr> </table>	検診日	年	月	日	検体番号	_____	氏名				住所	_____	電話番号						生年月日	大正 年	昭和 年	平成 年	月	日生 ( 年 )	1 子宮頸がん検診を受けたことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) 受けたことがある ( 年前 ) (2) 受けたことがない (1) の場合、異常があると言わされましたか a 異常あり ( ) b 異常なし						2 月経 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり ↓ (最終月経 月 日～ 月 日) (閉経 症) (1) の場合、月経間隔は a 期間 b 不規則						3 過去6ヶ月以内の不正性器出血 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 a 閉経後出血 b 過多月絏 c 不規則出血 d 一時的な少量出血						4 妊娠 (1) 妊娠回数 生産 死産 流産 (人工 回、自然 回)						5 出産 (1) 初産年齢 ( 年 ) (2) 現在 妊娠 ケ月 哺乳 ケ月 (3) 最終出産年齢 ( 年 )						6 ホルモン剤の服用 (1) あり (2) なし (絶産 (期間))						7 子宮内避妊具の使用 (1) あり (2) なし						8 子宮の病気にかかったことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 病名: _____						9 血縁の人にがんにかかった人がいますか (1) いる (2) いない					
検診日	年	月	日	検体番号	_____																																																																																																																																																														
氏名				住所	_____																																																																																																																																																														
電話番号																																																																																																																																																																			
生年月日	昭和 年	平成 年	月	日	生 ( 年 )																																																																																																																																																														
1 子宮頸がん検診を受けたことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) 受けたことがある ( 年前 ) (2) 受けたことがない (1) の場合、異常があると言わされましたか a 異常あり ( ) b 異常なし																																																																																																																																																																			
2 月経 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり ↓ (最終月経 月 日～ 月 日) (閉経 症) (1) の場合、月経間隔は a 期間 b 不規則																																																																																																																																																																			
3 過去6ヶ月以内の不正性器出血 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 a 閉経後出血 b 過多月絏 c 不規則出血 d 一時的な少量出血																																																																																																																																																																			
4 性交経験 (1) あり (2) なし																																																																																																																																																																			
5 妊娠 (1) 現在妊娠していますか a はい (妊娠週数 週) b いいえ (2) 過去の妊娠について 妊娠回数 回 生産 回 死産 回 流産 回 (人工 回、自然 回)																																																																																																																																																																			
6 出産 (1) 初産年齢 ( 年 ) (2) 現在 産後 ケ月 授乳中 (3) 最終出産年齢 ( 年 )  (1) あり (2) なし (絶産 (期間))																																																																																																																																																																			
7 子宮内避妊具の使用 (1) あり (2) なし																																																																																																																																																																			
8 子宮の病気にかかったことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 病名: _____																																																																																																																																																																			
9 血縁の人にがんにかかった人がいますか (1) いる (2) いない																																																																																																																																																																			
10 血縁の人にがんにかかった人がいますか (1) いる (2) いない																																																																																																																																																																			
検診日	年	月	日	検体番号	_____																																																																																																																																																														
氏名				住所	_____																																																																																																																																																														
電話番号																																																																																																																																																																			
生年月日	大正 年	昭和 年	平成 年	月	日生 ( 年 )																																																																																																																																																														
1 子宮頸がん検診を受けたことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) 受けたことがある ( 年前 ) (2) 受けたことがない (1) の場合、異常があると言わされましたか a 異常あり ( ) b 異常なし																																																																																																																																																																			
2 月経 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり ↓ (最終月経 月 日～ 月 日) (閉経 症) (1) の場合、月経間隔は a 期間 b 不規則																																																																																																																																																																			
3 過去6ヶ月以内の不正性器出血 <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 a 閉経後出血 b 過多月絏 c 不規則出血 d 一時的な少量出血																																																																																																																																																																			
4 妊娠 (1) 妊娠回数 生産 死産 流産 (人工 回、自然 回)																																																																																																																																																																			
5 出産 (1) 初産年齢 ( 年 ) (2) 現在 妊娠 ケ月 哺乳 ケ月 (3) 最終出産年齢 ( 年 )																																																																																																																																																																			
6 ホルモン剤の服用 (1) あり (2) なし (絶産 (期間))																																																																																																																																																																			
7 子宮内避妊具の使用 (1) あり (2) なし																																																																																																																																																																			
8 子宮の病気にかかったことがありますか <input checked="" type="checkbox"/> (1) あり (2) なし (1) の場合 病名: _____																																																																																																																																																																			
9 血縁の人にがんにかかった人がいますか (1) いる (2) いない																																																																																																																																																																			

## 新旧対照表

### 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

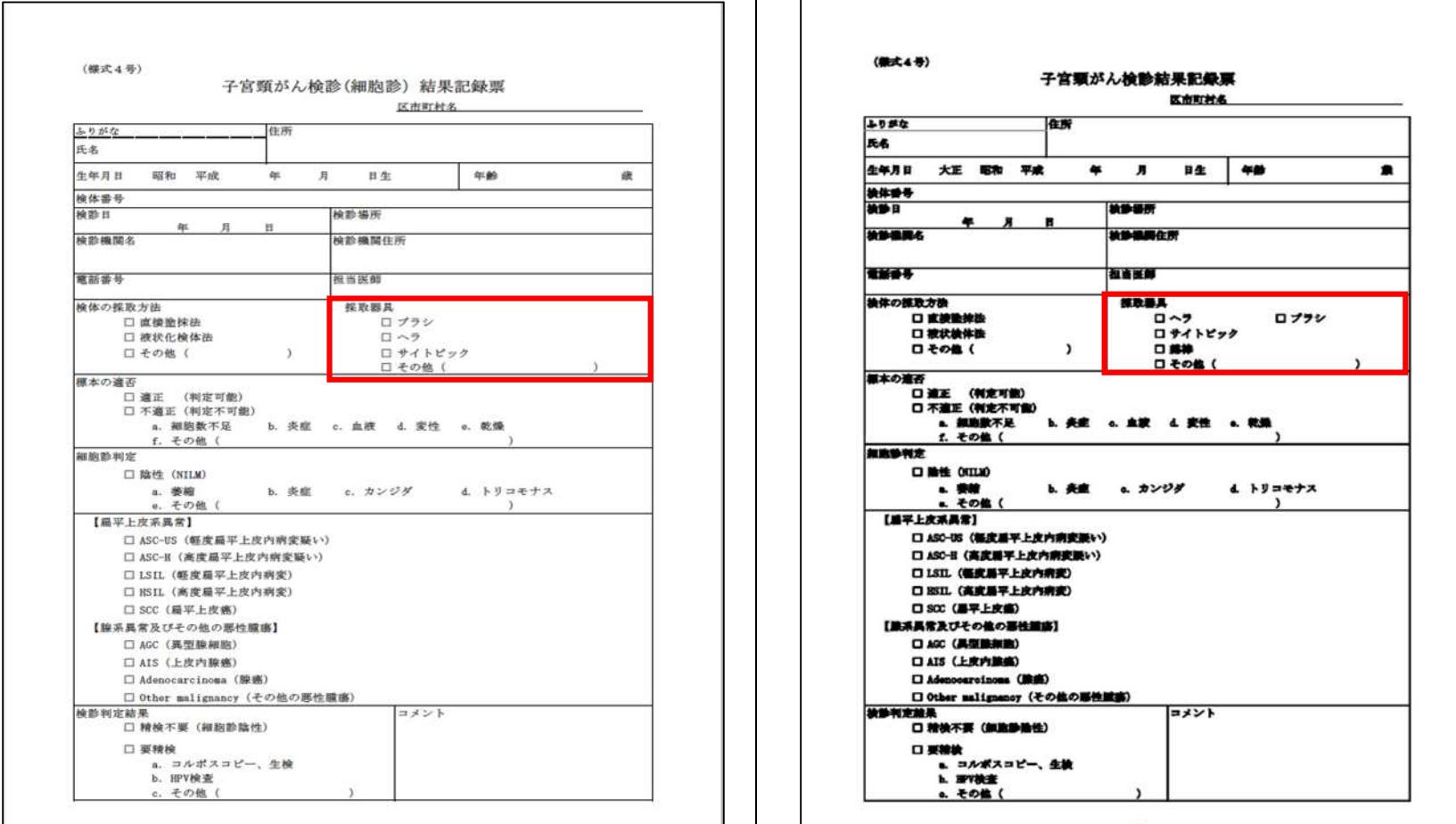
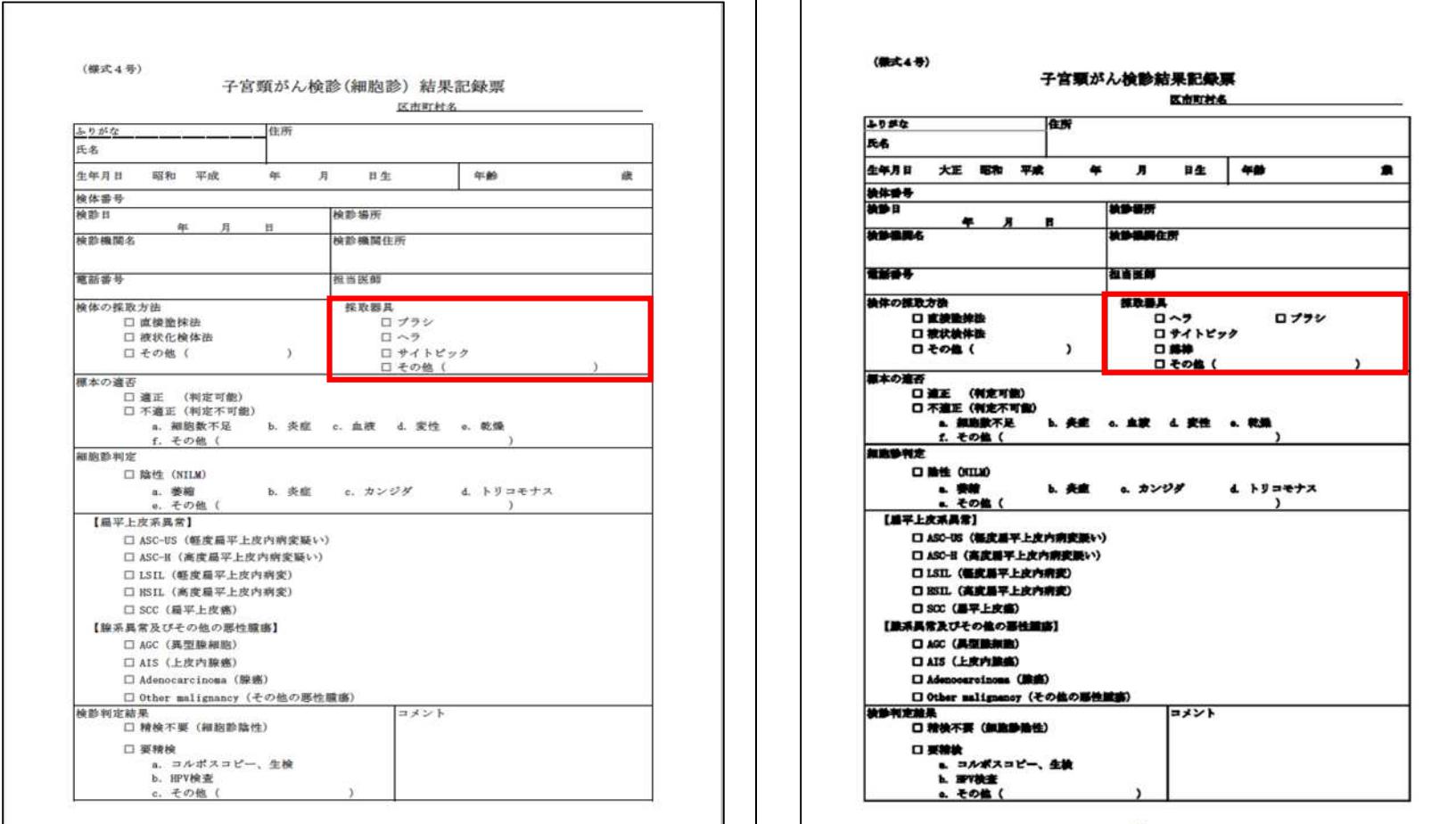
新	旧
(様式3号)	(様式3号)

The new version of the form is identical in layout to the old one, featuring two main sections: 'Patient Information' (Patient Name, Date of Birth, Address, etc.) at the top, followed by two large tables for recording screening results. The first table covers 'Cytology' (A1B, A1C, C1B, C1C) and the second covers 'Histology' (A2B, A2C, C2B, C2C). Both tables include columns for 'Biopsy Result' and 'Comments'. A note at the bottom states: '※A1とC1が合併する場合はあるため、検査結果に「A1BとC1が両方記入されている場合は」「A1B」に野上すること。また、A2とC2が合併する場合はあるため、検査結果に「A2BとC2が両方記入されている場合は」「A2B」に野上すること。また、「C1の細胞が全く不明の結果」については、検査結果用箇所等に検査結果を記入せず、その上で細胞が問題な場合は「C1の細胞が全く不明の結果」に野上すること。'.

The old version of the form is identical in layout to the new one, featuring two main sections: 'Patient Information' (Patient Name, Date of Birth, Address, etc.) at the top, followed by two large tables for recording screening results. The first table covers 'Cytology' (A1B, A1C, C1B, C1C) and the second covers 'Histology' (A2B, A2C, C2B, C2C). Both tables include columns for 'Biopsy Result' and 'Comments'. A note at the bottom states: '※A1とC1が合併する場合はあるため、検査結果に「A1BとC1が両方記入されている場合は」「A1B」に野上すること。また、A2とC2が合併する場合はあるため、検査結果に「A2BとC2が両方記入されている場合は」「A2B」に野上すること。また、「C1の細胞が全く不明の結果」については、検査結果用箇所等に検査結果を記入せず、その上で細胞が問題な場合は「C1の細胞が全く不明の結果」に野上すること。'.

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
<p>(様式4号)</p> 	<p>(様式4号)</p> 

## 新旧対照表

### 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
(様式5号)	(様式5号)
<p>(様式5号) 子宮頸がん検診（細胞診）結果通知書</p> <p style="text-align: right;">_____様</p> <p>(注) ○印があなたの検診結果です。</p> <p>1. 精密検査不要 … さらに詳しい検査を行う必要はありません。 ただし、細胞診検査すべての子宮頸がんを発見することはできません。今回の検査で異常が無くても、不正出血などの自覚症状があった場合は、早い時期に医療機関を受診されるようお勧めします。また、症状が無くても2年に1度は必ず検診を受けましょう。</p> <p>2. 要精密検査 … 今回の子宮頸がん検診の結果、さらに詳しい検査が必要です。 子宮頸がん検診により、異常を認めました。 自覚症状のない場合もありますので、自治体もしくは検診機関の指示に従い、 <u>すみやかに最寄りの婦人科専門医療機関を受診し、必ず精密検査を受けてください。</u> ただし、要精密検査の方が必ずしも子宮頸がんとは限りません。前がん病変や異常なしのこともあります。</p> <p>&lt;精密検査の際には以下のものを忘れずにご持参ください&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん検診結果通知書（本状）</li> <li>・子宮頸がん検診精密検査依頼書兼結果報告書（同封）</li> <li>・健康保険証</li> </ul> <p style="text-align: center;">年      月      日</p> <p>検診機関名 _____</p> <p>担当医師 _____</p>	<p>(様式5号) 子宮頸がん検診結果通知書</p> <p style="text-align: right;">_____様</p> <p>(注) ○印があなたの検診結果です。</p> <p>1. 精密検査不要 … さらに詳しい検査を行う必要はありません。 ただし、細胞診検査すべての子宮頸がんを発見することはできません。今回の検査で異常が無くても、不正出血などの自覚症状があった場合は、早い時期に医療機関を受診されるようお勧めします。また、症状が無くても2年に1度は必ず検診を受けましょう。</p> <p>2. 要精密検査 … 今回の子宮頸がん検診の結果、さらに詳しい検査が必要です。 子宮頸がん検診により、異常を認めました。 自覚症状のない場合もありますので、自治体もしくは検診機関の指示に従い、 <u>すみやかに最寄りの婦人科専門医療機関を受診し、必ず精密検査を受けてください。</u> ただし、要精密検査の方が必ずしも子宮頸がんとは限りません。前がん病変や異常なしのこともあります。</p> <p>&lt;精密検査の際には以下のものを忘れずにご持参ください&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん検診結果通知書（本状）</li> <li>・子宮頸がん検診精密検査依頼書兼結果報告書（同封）</li> <li>・健康保険証</li> </ul> <p style="text-align: center;">年      月      日</p> <p>検診機関名 _____</p> <p>担当医師 _____</p>

## 新旧対照表

### 東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

(様式6号)

(様式6号)  
① ○○○○○○控

○/○

#### ●●区子宮頸がん検診(細胞診) 精密検査依頼書 兼 結果報告書

##### 子宮頸がん精密検査依頼書

医療機関名 様  
御担当医 様  
御担当医 様

「個人識別情報」は、記入内容にあわせて項目名を  
変更してください。（例：住所）

年 月 日  
返送先  
〒  
住所：  
TEL：

年 月 日

下記の方は●●区子宮頸がん検診の結果、要精密検査となりましたので、御高診の上、宜しく御指導をお願い申し上げます。

氏名	検診日	年 月 日
生年月日	年 月 日	検診機関名
個人識別 情報	住所：自治体独自の住民番号・受診者番号・医療機 関コード等、必要な項目の記入欄として使用	子宮頸部 細胞診 (結果に○)
		ASC-US ASC-H・LSIL・HSIL・AGC・AIS SCC・Adeno Ca・Other

精密検査結果(貴院記入用) 精密検査結果について御記入の上、御返送くださいよお願いいたします。

\* 精密検査結果の区市町村及び区市町村から委託を受けた検診機関への提供は、個人情報保護法の例外事項として認められています。

(医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン)（個人情報保護委員会・厚生労働省）において個人情報保護法第27条第1項第3号に該当すると規定されています。)

御記入いただいた内容は、区市町村が「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)に計上し、国及び都の地域保健施策のための基礎資料となります。本書による御報告の後、追加調査に御協力いただぐ場合があります。)

精密検査	<input type="checkbox"/> HPV検査 → 結果( 隆性 ・ 隆性 ) <input type="checkbox"/> 細胞診 → 結果( ) <input type="checkbox"/> コルボスコビー <input type="checkbox"/> 細胞診	(一次検診結果がASC-USの場合) HPV検査または細胞診のみでも 精検受診として扱います。
実施した全ての検査を チェックしてください	<input type="checkbox"/> 上記以外( 検査法: ) <input type="checkbox"/> 异常なし・子宮頸部以外の疾患(卵巢がん、子宮体部に発生する子宮体がん等) <input type="checkbox"/> 子宮頸がん ( <input type="checkbox"/> 扁平上皮癌 <input type="checkbox"/> 腺癌 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 子宮頸がんの疑いのある者又は未確定	(一次検診結果がASC-US以外の場合) コルボスコビー、組織診の実施で 精検受診として扱います。
診断区分	<input type="checkbox"/> 上皮内病変 ※膜異形成は除く ( <input type="checkbox"/> AIS <input type="checkbox"/> CIN3 <input type="checkbox"/> CIN2 <input type="checkbox"/> CIN1 ) <input type="checkbox"/> 子宮頸がん ( <input type="checkbox"/> 扁平上皮癌 <input type="checkbox"/> 腺癌 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 判明した全ての疾患を チェックしてください	( <input type="checkbox"/> IA期 <input type="checkbox"/> IB期以上 )
精密検査時の偶発症 且つする場合は チェックしてください	<input type="checkbox"/> あり → 内容 ( ) ※入院治療を要するものとする(例:組織診中の多量出血、検査後の骨盤内感染症等)。	
精密検査実施日	精密検査実施医療機関名	精密検査担当医師名
年 月 日	TEL	

(様式6号)

(様式6号)  
① ○○○○○○控

○/○

#### ●●区子宮頸がん検診 精密検査依頼書 兼 結果報告書

##### 子宮頸がん精密検査依頼書

医療機関名 様

御担当医 様

御担当医 様

年 月 日  
返送先  
〒  
住所：  
TEL：

年 月 日

氏名	検診日	年 月 日
生年月日	年 月 日	検診機関名
個人識別 情報	住所：自治体独自の住民番号・受診者番号・医療機 関コード等、必要な項目の記入欄として使用	子宮頸部 細胞診 (結果に○)
		ASC-US ASC-H・LSIL・HSIL・AGC・AIS SCC・Adeno Ca・Other

精密検査結果(貴院記入用) 精密検査結果について御記入の上、御返送くださいよお願いいたします。

\* 精密検査結果の区市町村及び区市町村から委託を受けた検診機関への提供は、個人情報保護法の例外事項として認められています。

(「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」(個人情報保護委員会・厚生労働省)において個人情報保護法第27条第1項第3号に該当すると規定されています。)

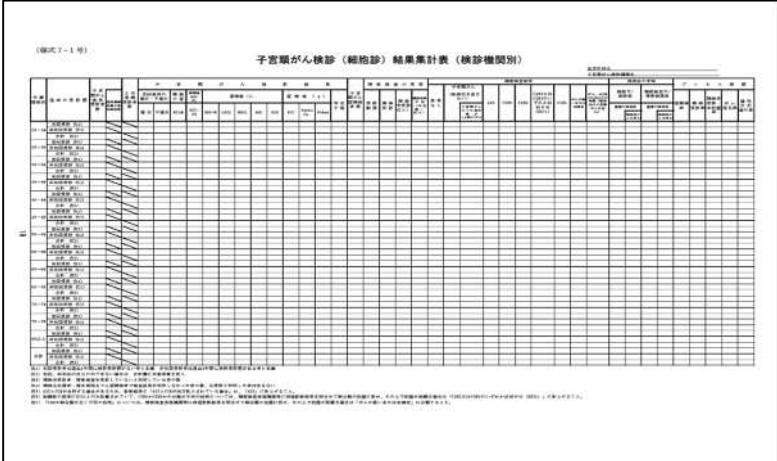
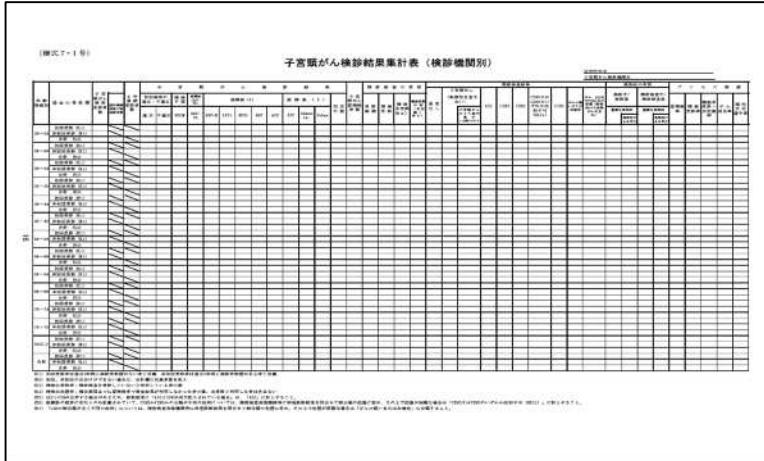
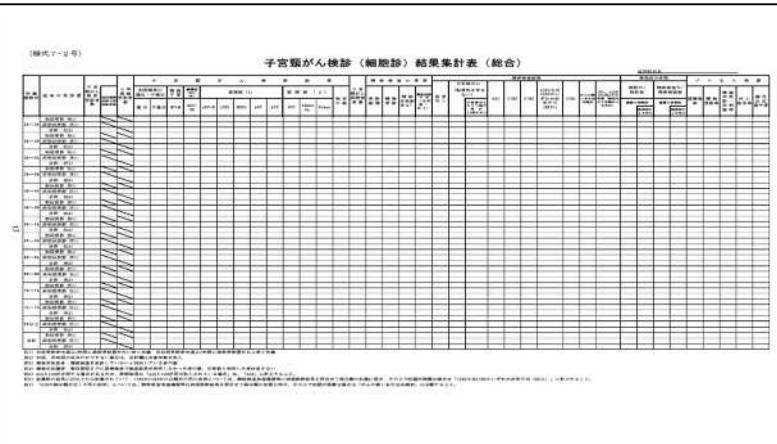
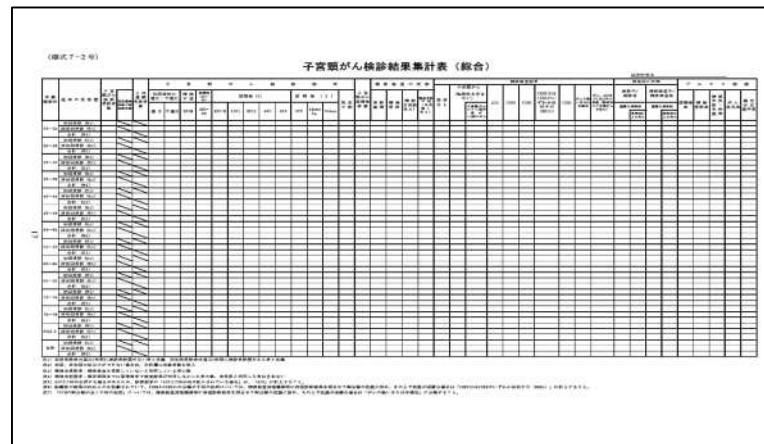
御記入いただいた内容は、区市町村が「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)に計上し、国及び都の地域保健施策のための基礎資料となります。(本書による御報告の後、追加調査に御協力いただぐ場合があります。)

精密検査	<input type="checkbox"/> HPV検査 → 結果( 隆性 ・ 隆性 ) <input type="checkbox"/> 細胞診 → 結果( ) <input type="checkbox"/> コルボスコビー <input type="checkbox"/> 細胞診	(一次検診結果がASC-USの場合) HPV検査または細胞診のみでも 精検受診として扱います。
実施した全ての検査を チェックしてください	<input type="checkbox"/> 上記以外( 検査法: ) <input type="checkbox"/> 异常なし・子宮頸部以外の疾患(卵巢がん、子宮体部に発生する子宮体がん等) <input type="checkbox"/> 子宮頸がん ( <input type="checkbox"/> 扁平上皮癌 <input type="checkbox"/> 腺癌 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 判明した全ての疾患を チェックしてください	(一次検診結果がASC-US以外の場合) コルボスコビー、組織診の実施で 精検受診として扱います。
診断区分	<input type="checkbox"/> 上皮内病変 ※膜異形成は除く ( <input type="checkbox"/> AIS <input type="checkbox"/> CIN3 <input type="checkbox"/> CIN2 <input type="checkbox"/> CIN1 ) <input type="checkbox"/> 子宮頸がん ( <input type="checkbox"/> 扁平上皮癌 <input type="checkbox"/> 腺癌 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 判明した全ての疾患を チェックしてください	( <input type="checkbox"/> IA期 <input type="checkbox"/> IB期以上 )
精密検査時の偶発症 且つする場合は チェックしてください	<input type="checkbox"/> あり → 内容 ( ) ※入院治療を要するものとする(例:組織診中の多量出血、検査後の骨盤内感染症等)。	
精密検査実施日	精密検査実施医療機関名	精密検査担当医師名
年 月 日	TEL	

15

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
(様式7－1号)	(様式7－1号)
	
(様式7－2号)	(様式7－2号)
	

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）

新	旧
<p>(様式8号) 子宮頸がん検診（細胞診）のためのチェックリスト（市区町村用）</p> <p>※ 国立がん研究センター作成様式（令和6年3月）に差替え</p>	<p>(様式8号) 子宮頸がん検診のためのチェックリスト（市区町村用）</p> <p>※ 国立がん研究センター作成様式（平成31年3月）</p>
<p>(様式9号) 子宮頸がん検診（細胞診）のためのチェックリスト（検診機関用）</p> <p>※ 国立がん研究センター作成様式（令和6年3月）に差替え</p>	<p>(様式9号) 子宮頸がん検診のためのチェックリスト（検診機関用）</p> <p>※ 国立がん研究センター作成様式（令和3年3月）</p>

## 新旧対照表

東京都子宮頸がん検診の精度管理のための技術的指針（令和6年8月）